

「飢餓のソマリア救え!!」

早くも善意続々

西仙北の青年たち



ソマリアの子供たちを救おう、と米を持ち寄った大曲小の子供たち

「愛の一粒運動」スタート

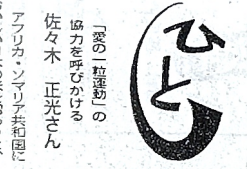
児童らが率先

秋田米片手に登校

この善行は、仙北郡西仙北町刈野上ノ命の会社員佐々木正光さん(五十)と日本ユニセフ協会秋田友の会の会長十田一運助のきくかけ、ソマリア共和国でむすぶ食糧を求めて群むすぶ子供たちも、愛のあまの池で闘む人々たのの惨状を記して伝真を委員の一人に目にしたが、外村、それに由利郡大内町の各小、中学校単位で一人一食分の米の消費量に当る約一合(百五十)を

飢饉に苦しむソマリア・ソマリア赤十字社秋田米を贈ろうと、西仙北郡西仙北町の青年たち「愛の一粒運動」が、日五スタートした。七日は大曲市や仙北郡内各小の提供を呼びかけるの運動、早くも「善意の米」が持ち寄せられ

立派な、佐々木さん(五十)も米袋を運んで農水省まで届け、救済用輸米袋の承認を取り付け、きく日本郵船から無料輸送の協力を得た。この「愛の一粒運動」は一日から一週間期間内、今秋までの献金する秋田や大曲市、仙北郡刈野上、西仙北町、神岡町、南外村、それに由利郡大内町の各小、中学校単位で一人一食分の米の消費量に当る約一合(百五十)を



ひと握りの米をせび



1972.9.1 毎日 秋田版

「ひと」の愛の一粒運動、西仙北郡西仙北町の青年たち「愛の一粒運動」が、日五スタートした。七日は大曲市や仙北郡内各小の提供を呼びかけるの運動、早くも「善意の米」が持ち寄せられ

(一)